

令和7年度第2回横手市廃棄物減量等推進審議会 議事録

日時:令和8年3月18日(水)

午前10時00分～午前10時45分

場所:クリーンプラザよこて 2階研修室

・出席者:審議委員

- 1番:笠井 みち子
- 2番:片倉 由美子
- 3番:大坂 陽子
- 4番:塩田 恵
- 5番:鷹田 芳子
- 6番:照井 敦子
- 7番:須藤 喜和子
- 8番:小林 由久
- 9番:関口 悦雄
- 10番:佐々木 正樹
- 11番:熊谷 昇
- 12番:照井 俊男
- 13番:佐藤 哲也
- 15番:山本 眞喜子
- 17番:上田 卓巳
- 18番:藤田 一輝(近藤 一之 委員 代理)

事務局:

- 市民福祉部長:大坂 智実
- 生活環境課長:高橋 道明
- 廃棄物対策係長:佐々木 友和
- 廃棄物対策係主査:五十嵐 秀則
- 廃棄物対策係主任:荒関 崇宏
- 廃棄物対策係主事:長澤 優樹

欠席者:

- 14番:遠藤 宗一郎
- 16番:佐藤 政実

1. 開会

事務局(高橋 道明 生活環境課長)により開会を宣言。

2. あいさつ

- 市民福祉部長(大坂):第10期委員の任期満了に伴う謝辞、および本日の諮問・報告案件の概要について挨拶。
- 会長(上田 卓巳):年度末の多忙な中での出席に対する感謝と、円滑かつ有意義な審議への協力を要請。

3. 議事録署名委員の選任

会長より指名があり、以下の2名が選任された。

- 13番:佐藤 哲也 委員
- 15番:山本 眞喜子 委員

4. 協議 (1)「第3次横手市一般廃棄物処理基本計画(案)」について

事務局(佐々木 友和 廃棄物対策係長)より、パブリックコメントの結果および前回会議からの修正点について説明。

- パブコメ結果:1ヶ月間実施したが、意見提出はなし。
- 主な修正事項:
 - 用語の訂正:17ページ「リフォー」を「リフューズ(Refuse:断る)」に修正。ごみになるものを入り口で断る行動(例:靴箱を辞退するなど)の定着を推進。
 - 施策の削除:22ページ「低公害車の導入」を削除。
 - 目標値の整理:31ページ、人口減少に伴い数値が低下する「水洗化人口」の目標値を削除。

(2)「令和8年度横手市一般廃棄物処理実施計画(案)」について

事務局(長澤 優樹 主事)より、令和8年度計画の詳細を説明。

- 処理体制:現在建設中の新ペットボトル等処理施設は令和9年度からの稼働を目指しているため、令和8年度は引き続き現行の仮施設で継続。
- 実績・目標:人口減少によりごみ排出量は減少見込み。資源化率の目標については、第3次総合計画との整合性を図り、令和8年度目標を19.8%としつつ、最終目標24%を維持。
- 審議結果:異議なし。原案の通り答申することに決定。

5. 報告「一般廃棄物処理許可業者の変更について」

事務局(五十嵐 秀則 主査)より報告。

- 内容:株式会社ヨコウンのホールディングス化に伴う事業継承。
- 変更点:令和8年4月1日より、環境・リサイクル事業を「株式会社ヨコウンエコファクトリーサービス(代表取締役:伊藤 正弘 氏)」が継承。所在地や許可範囲に変更はない。

6. その他(質疑応答)

- 関口 悦雄 委員:物価高騰とごみ排出量の相関について質問。

事務局回答:追加資料に基づき、物価指数の上昇に伴い家庭ごみ排出量が減少している分析結果を回答。物価高騰が排出抑制の一因となっている可能性がある。

- 関口 悦雄 委員:集団資源回収活動(奨励金交付)の現在の活動状況について質問。

事務局回答:登録団体数は約120~130団体あるが、実際に活動し奨励金の申請があるのは年間で40~50団体程度である。

- 照井 敦子 委員:いぶりかっこの残渣(カス)の捨て方について質問。

事務局回答:家庭で行う場合は一般廃棄物(燃えるごみ)として処理可能だが、事業として行う場合は産業廃棄物扱いとなるため、専門の許可業者への委託が必要である。

- 事務局より:次期委員(第11期:令和8年6月1日~)の選出に向け、4月中に更新依頼を通知予定である旨を報告。

7. 閉会

令和7年度第2回 横手市廃棄物減量等推進審議会を終了した。

令和8年3月25日

議事録署名委員: 佐藤 哲也

議事録署名委員: 山本 敦子